

11月2日に豊頃町開町140周年記念式典および、タイムカプセル標石開扉式が挙行されました。

タイムカプセル開扉式では、埋設当時小中学生だった方々を招いて行われ、30年前の1990年に役場庁舎前に埋設したタイムカプセルを、慎重に取り出しました。タイムカプセルには、当時の子どもたちが30年後の自分や豊頃の様子を想像して書いた作文や、当時の町の様子が収められたビデオテープなどが封入されており、記念式典後に披露されました。

開扉式を終えたのち、える夢館はるにれホールに場所を移して、記念式典が挙行されました。新型コロナウイルス感染防止のため、席数などを減らし3密を避けた状態で行われ、町民ら約60名が町の歴史を振り返りながら新たな門出をお祝いしました。宮口町長が「先人の志を未来をつないでいくことが私たちの使命。開拓精神と歴史に学び、町民一丸となって町の発展を目指すべく、新たな第

一步を踏み出す決意を新たにしました」と式辞を述べた後、功労者らへ表彰状と感謝状が贈られました。

その後、開封されたタイムカプセル内にあった様々な物品の中から、ビデオテープの上映会が行われ、当時の様子をよく知る出席者から、時折感嘆の声が漏れるなど、これまでの豊頃町を鮮明に思い出している様子が見られました。

そしてカプセルに手紙を入れた方を代表し当時小学4年生だった鳴海走也さん（幕別町在住）にご自身が書かれた作文を読み上げていただきました。

鳴海さんは当時を振り返り、スケート少年団に所属して佐々田沼にあったスケートリンクでスケートを頑張っていたこと、同級生の牧場にあつた麦稈ロールで遊んで怒られたことなど、思い出を懐かしみながら作文を発表されました。

このタイムカプセルに封入された数々の物品は、える夢館内の図書館に展示しておりますので、ぜひご覧ください。



▲タイムカプセルの中身を展示



▲鳴海さんが思い出を振り返りつつ作文を披露されました

▲表彰された方々と集合写真



※写真撮影のときにのみ、マスクを外しています

豊頃町140周年記念

オリジナル保冷トートをお配りします

12月1日以降、各家庭へ郵送でお届けします。式典でも使われた140周年記念ロゴが入ったオリジナル保冷トートです。



本町の発展に、それぞれの分野で功績のあった個人23名に

表彰状および感謝状が贈られました。

※順不同・敬称略

特別功労賞

影山春一（統内）

町、町内の福祉団体及び小中学校に多額の金品を寄附され、本町に多大な貢献をされました。

自治功労賞

佐藤 仁（中央新町）

平成5年4月から平成9年3月及び平成14年4月から現在までの22年8か月間、行政区长として、地方自治の振興に寄与されました。

社会功労賞

井上正洋（茂岩新和町）

昭和63年10月から平成30年9月までの30年間、保護司として、本町の社会福祉の推進に寄与されました。

坂口節子（中央新町）

平成7年12月から現在までの25年間、民生委員・児童委員として、本町の社会福祉の推進に寄与されました。

産業功労賞

立野武夫（茂岩本町）

昭和61年5月から現在までの34年6か月間、豊頃町商工会副会長及び理事として、本町の商工業振興に寄与されました。

田中春次（茂岩本町）

平成7年5月から現在までの25年6か月間、豊頃町商工会副会長及び理事として、本町の商工業振興に寄与されました。

高橋敏典（茂岩本町）

平成元年5月から令和元年9月までの24年5か月間、豊頃町商工会副会長及び理事として、本町の商工業振興に寄与されました。

大谷幸博（茂岩本町）

平成11年5月から現在までの21年間6か月間、豊頃町商工会理事として、本町の商工業振興に寄与されました。

前田勇治（豊頃旭町）

平成6年5月から平成27年5月までの21年間、豊頃町商工会理事として、本町の商工業振興に寄与されました。

石田哲郎（茂岩本町）

平成7年4月から平成27年5月までの20年1か月間、豊頃町商工会理事として本町の商工業振興に寄与されました。

文化功労賞

岩井 明（中央新町）

平成12年6月から現在までの20年5か月間、豊頃町文化協会会長及び役員として、本町の文化振興に寄与されました。

感謝状

嘉藤勝広（礼作別）

平成20年7月から令和2年7月までの12年間、豊頃町農業委員会委員として、本町の農業振興に寄与されました。

宝田幸子（十弗）

平成26年から令和2年7月までの6年間、豊頃町農業委員会委員として、本町の農業振興に寄与されました。

宝田明洋（十弗）

平成26年2月から令和2年2月までの6年間、豊頃町固定資産評価審査委員会委員として、税務行政の推進に寄与されました。

川村和也（大津元町）

平成19年12月から令和元年12月までの12年間、豊頃町選挙管理委員会委員として、地方自治の振興に寄与されました。

後藤秀子（茂岩末広町）

平成16年3月から令和元年11月までの15年9か月間、主任児童委員として、本町の社会福祉の推進に寄与されました。

谷野由博（牛首別）

平成19年12月から令和元年11月までの12年間、民生委員・児童委員として、本町の社会福祉の推進に寄与されました。

武野和男（二宮）

平成20年から平成28年3月までの8年間、豊頃町老人クラブ連合会長として、平成18年4月から令和2年3月までの14年間、老人クラブ「二宮長寿会」会長として、本町の社会福祉推進に寄与されました。

門 栄（茂岩栄町）

平成16年4月から令和2年3月までの16年間、豊頃町交通安全特別指導員として、本町の交通安全推進に寄与されました。

株式会社ユーラス豊頃太陽光

代表取締役 山本勝公
令和元年6月及び令和2年8月、ふるさと振興資金として、金五百四十万円を寄附されました。

武野温恭（二宮）

令和2年10月に「二宮尊徳像」を寄附されました。

武隈英和（牛首別）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月から8月まで、次亜塩素酸水を寄附されました。

高橋 誠（茂岩末広町）

令和2年7月に道路用地として土地を寄附されました。